

## 伊田臨時代理大使のハワサ市訪問

2021年4月8日、伊田臨時代理大使は、シダマ州ハワサ市を訪問し、ツェガエ副市長と意見交換を行うと共に、当館、UN ハビタット、ハワサ市州事務所との共同により、同市で実施された「ごみ集積場のリスク削減と公衆衛生保護策としての福岡方式を活用したエチオピアのハワサ市における固形廃棄物管理（SMW）緊急技術支援」事業の発足式に参加しました。

市長との意見交換では、今後の日本との協力の可能性、及びハワサ市の経済・治安情勢についての意見交換が行われました。

当該事業は、固形廃棄物管理（SWM）の福岡方式の活用によるハワサ市の強靱で安全且つ持続可能な環境の再生と維持に貢献することを目的に、我が国より UN ハビタット事務所に 8,250 万円（75 万米ドル）を拠出し実施されるものです。本案件を通じて、ごみ集積場の火災、メタンガス爆発のリスク削減により、ハワサ市ごみ集積場の周辺に居住する 2.5 万人の住民の生活環境・健康が改善され、ハワサ市 30 万人の人々への間接的な裨益により同市の社会経済開発に寄与します。

事業発足式において、伊田臨時代理大使は、我が国は、UN ハビタットとアディスアベバ市及びバハルダール市で福岡方式の導入による固形廃棄物管理システムの確立支援を実施済みで、両支援の成果を踏まえ、今回ハワサ市への支援が行われる旨説明し、本案件の実施が日本とエチオピアの友情を深める一助になることを祈念する旨述べました。また、ハレグボイン UN ハビタット・エチオピア事務所長及びツェガエ・ハワサ副市長より、我が国の支援に対する謝辞が述べられました。



ツェガエ副市長との意見交換



伊田臨時代理大使のスピーチ



UN ハビタット・エチオピア事務所長のスピーチ



ハワサ市ごみ処理場での集合写真